



ほけんだより 4月号



おひさま岡町保育園 2024. 4. 1

ご入園 ご進級 おめでとうございます

新年度を迎え、ひとつ大きくなった喜びと期待いっぱいの笑顔に出会える春。新入園の子どもたち、進級した子どもたちの1年間の成長と発達を楽しみにしています。毎月発行する「ほけんだより」を通して、子どもたちの身体や健康に関するお知らせをしていきます。子ども自身が自分の身体に興味を持ち、保護者の方が安心して子どもたちを預けて頂けるよう、職員一同 力を合わせていきます。

今年度の予定

内科健診	乳児：5月16日 7月18日 11月28日 1月23日 幼児：4月18日 10月10日 ※全日程10：00～
歯科検診	全園児：5月23日 9：30～
眼科検診	幼児：6月6日 13：00～
耳鼻科検診	幼児：9月頃
尿検査	幼児（4・5歳児）：5月9日
視力検査	あじさい、ひまわり：5月実施 なのはな：1月実施

※欠席されますと、後日、嘱託医で検診や検査を受けて頂くことになります。なお、嘱託医ではなく、かかりつけ医で受ける場合の検診・検査費用は自己負担となります。

発育測定 乳児は毎月、幼児は2か月に1回します。
4月は全園児 8～12日です。



嘱託医紹介

内科	なんばこどもクリニック 難波直樹 医師
歯科	カワムラ歯科診療所 河村忠成 医師
眼科	安藤眼科 安藤 誠 医師
耳鼻科	野口耳鼻咽喉科 野口春彦 医師

保育園で行った健診や発育測定の結果は「すくすくけんこうてちょう」を通じてお伝えします。年間を通し、保育園で保管をします。

結果を確認してサインをしたら、すぐに所定の場所（詳細は各クラスのおたよりに記載します）に返却してください。

その際に、予防接種や病院、保健センターで受けた健診の結果は、記載欄を設けていますので、ご記入ください。

おくすりについて



本来、園で薬を飲ませることは医療行為であり、誤投薬などの事故を起こさないために基本、保育時間内の投薬はしないことになっています。

但し、緊急時ややむを得ない理由の場合、保護者と保育園で話し合い、必ず投与条件を厳守した上で、保育園担当者が保護者に代わって与える事になります。先天的な疾患や慢性疾患などで継続的な投与が必要な方は、お知らせください。

★薬の処方については、かかりつけ医に相談しましょう！

受診時、「保育園に通っています」と伝え、1日2回もしくは時間をずらしての処方が可能か聞いてみてください。

～子どもの健康と安全を守るために～

1. 予防接種は適切な時期に受けておきましょう。

子ども一人ひとりの健康と集団の健康を守るために、接種できる予防接種を適切な時期に受けましょう。

2. 子どもが感染症にかかってしまったら…

- ①早めに受診し、診断結果を園にご連絡ください。早期受診・早期対応ができることで流行を最小限にすることができます。
- ②家族がかかった感染症も園にお知らせください。
- ③登園できる目安はそれぞれありますが、“子ども自身の体力が回復し、みんなと一緒に園生活が送れること”が大切です。

3. 乳幼児突然死症候群を知っていますか？

「それまで元気だった赤ちゃんが何の前ぶれもなく眠っているうちに亡くなってしまう」という病気です。原因は不明ですが、うつむせ寝や熱がこもる、飲みすぎ・食べすぎ、両親の喫煙などがリスクを上げるといわれています。保育園でも睡眠中の状態には十分配慮しています。

園で使用している市販薬について

保育時間内にケガをされた場合、応急処置をしています。切り傷・擦り傷・虫刺されなどは流水での洗浄を基本としています。けがなどの状態に応じて、ワセリン、ムヒ、ドルマイシン、オロナイン、レスタミンクリームを使用することもあります。使用を控えて欲しいと思われる場合は、4月5日までに職員にお伝えください。

～自己紹介～

看護師 ^{おがた}緒方 みか

^{やまぐち}山口 ^{ともみ}智美 です。

お子様の身体のことでの心配なことがあれば、いつでもご相談ください。

保育園において、子どもの健康増進と病気への対応とその予防は、厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき行っています。感染症に関しては、罹ると重篤化する子どももいます。保育園は集団生活の場ですので、感染拡大を防ぐためにも以下の基準に沿って対応させていただきます。よろしくお願いします。

登園を控えるのが望ましい場合

発熱時

※発熱期間と同日の回復期間が必要。

- 朝から37.5℃を越えた熱があり元気がなく機嫌が悪い
- 食欲がなく朝食・水分が摂れていない
- 24時間以内に解熱剤を使用している
- 24時間以内に38℃以上の熱が出ていた

咳の時

※前日に発熱がなくても

- 喘鳴や呼吸困難がある
- 夜間、しばしば咳の為に起きる
- 呼吸が速い
- 37.5℃以上の熱を伴っている
- 元気がなく、機嫌が悪い
- 食欲がなく朝食・水分が摂れない
- 少し動いただけで咳がでる



予防接種について

予防接種は自然に感染すると重症化しやすい病気に対してつづられています。

戦前は蔓延していた結核も戦後、BCGの接種がされたことにより、結核にかかる人は格段に減少しました。ほとんどの方が予防接種を受けることでたくさんの命が守られています。保育園での生活は集団生活になります。子どもたちの健康を守るためにも予防接種を受けていない方は、受けましょう。

予防接種を受けた方は、随時「すくすくけんこうてちょう」に追加記入してください。

こどもの健康を第一に考え、状況を把握し、下記の内容を参考に登園の判断をしてください。また、登園後に下記のような症状が出た場合は、様子をお伝えのご連絡、または、お迎えの連絡をさせていただきます。保育園から連絡があった場合は、できる限り早いお迎えの対応をお願いします。

嘔吐時

- 24時間以内に2回以上嘔吐がある
- 嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである
- 食欲がなく、水分も欲しがらない
- 機嫌が悪く、元気がない
- 顔色が悪く、ぐったりしている

発疹の時

- 発熱とともに発疹があるとき
- 今までになかった発疹が出て、感染症が疑われ、医師より登園を控えるよう指示されたとき
- 口内炎のため 食事や水分が摂れないとき
- とびひ（顔などで患部を覆えないとき
浸出液が多く他児への感染の恐れがあるとき
かゆみが強く手で患部を掻いてしまうとき）



下痢時

- 24時間に2回以上の水様便がある。
- 食事や水分を摂ると下痢がある。
(1日に4回以上の下痢)
- 下痢に伴い、体温がいつもより高めである
- 朝、排尿がない
- 機嫌が悪く、元気がない
- 顔色が悪くぐったりしている



感染症にかかった後の登園時には・・・

以下の感染症に罹った場合、登園時所定の用紙の提出をお願いします。

★意見書（医師記載）

麻疹（はしか）、流行性角結膜炎、百日咳

★登園届（保護者記載）

風疹、水痘（水疱瘡）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、結核、咽頭結膜熱（プール熱）、腸管出血性大腸菌感染症（O-157、O-26、O-111など）、急性出血性結膜炎、インフルエンザ、溶連菌感染症、手足口病、伝染性紅斑（りんご病）、ヘルパンギーナ、急性細気管支炎（RSなど）マイコプラズマ肺炎、ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルスなど）、帯状疱疹、新型コロナウイルス感染症、アタマジラミ、伝染性軟属腫（水いぼ）、伝染性膿痂疹（とびひ）、突発性発疹

お子様の健康のことで何か心配なことがあれば、いつでも聞いて下さい。